

当事者主導型研究と 先端研究戦略

共創認知科学に向けた研究者と当事者の対話

本OSでは認知科学における方法論的パラダイムシフトに向け、近年大きな発展を見せている「当事者主導型研究」(User-led Research)や「参加型研究」(Participatory Research)に関するリサーチ・オン・リサーチを題材として、研究者と被験者の壁を超克した対話の場である。従来型の科学において、科学者が観測・分析に主体的に取り組んで客観的な知識を供給し、被験者はあくまでもその営みの対象・客体と位置づけられてきたが、しかしひとりひとりの人生においてまさにそのひと自身が主体であり、当事者もまた問題や仮説に関するエキスパートである。それぞれを自律的な個人、自律的な研究者とみなしたときに、どのような共同創造が可能となるか。本研究セッションにおいては当事者・科学者・実務家によるクロストーク、公募研究者とのダイアログ、会場の参加者も参加してのオープントークを通じて、共創認知科学の確立に向けた研究戦略及び方法論的イノベーションの方策をともに探求する。